

## 瀬戸内エリアの空港における旅客動向・意識調査業務企画提案書作成要領

一般社団法人せとうち観光推進機構が実施する標記業務の委託に係る公募型プロポーザルに関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。

なお、プロポーザル参加者は、本事業の業務委託仕様書の趣旨に沿って提案すること。

### 1 企画提案時の提出書類及び構成

#### (1) 提出書類

正本1部、副本6部及び電子データを提出すること。

#### (2) 構成

ア 表紙

イ 瀬戸内エリアの空港における旅客動向・意識調査業務に係る提案書

ウ 事業実施スケジュール

エ 事業実施スタッフの業務内容並びに体制図

オ 事業実施実績（本業務に類似する業務に限る）

カ 見積書

#### (3) 留意事項

ア 仕様書の趣旨及び審査基準を十分にくみとり、具体的に提案すること。

イ 事業実施スケジュールについては、具体的に記載すること。

ウ 見積書については、本業務に係る所要経費を全て見積るとともに、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

### 2 作成要領

(1) 用紙は、原則A4判（必要に応じA3判の折込みも可）両面使用とし、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

(2) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。

(3) 審査の公正を期すため、企画提案書の副本には、会社名、住所、ロゴマークなど、プロポーザル参加者を特定できる表示を付してはならない。なお、事業実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

### 3 審査基準

#### (1) 企画提案内容

ア 本業務の趣旨及び内容を十分に理解し、業務目的を達成する提案内容であるか。

イ 調査票作成にあたっての考え方、内容（集計項目）、調査の実施方法（各空港の目標サンプル数、調査票の回収精度・回収率を上げるための工夫、調査回数及び調査時間等）が具体的に示されており、業務目的を達成するために適切かつ効果的なものであるか。

ウ ビッグデータ分析を行う場合は、適切かつ効果的なものであるか。また、ビッグデータ分析を行わない場合は、空港対面アンケート調査のみで問題ないと認められるか。

エ 調査結果の分析、課題整理、対応方法の提案について、最終的な報告書のとりまとめにつなげていくための手法や内容、仮説設定が具体的に示されており、業務目的を達成するために有効なものであるか（どのような観点からデータ分析、クロス分析等ができ

るのか。現状の課題などの仮説設定等)

オ 業務実施の前提として、瀬戸内エリア7県における観光の現況や災害時の意識について十分理解しているか。

(2) 事業遂行の安定性

ア 業務体制について具体的に記載されており、十分な体制がとられているか。

イ 業務全体の実施スケジュールについて具体的に記載されており、期間内で円滑に確実な遂行が可能と認められるか。

(3) 事業の実施に係る経費

ア 所要経費の明細が明らかとなっており、妥当性があるか。

イ 費用対効果の観点から適正な見積額となっているか。(予算額の範囲内で最大限の効果を得られる内容となっているか。)